

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 5

FUJI GT 300km RACE

[予選] 8月9日(土) 入場者：18,500人 天候：晴れ

[決勝] 8月10日(日) 入場者：26,500人 天候：晴れ

大荒れのコンディションの中11位完走！

2014 SUPER GTシリーズも前半戦を終え、第5戦目となる「FUJI GT 300km RACE」は、台風11号の影響で、時折猛烈な豪雨に見舞われ不安定な天候となった富士スピードウェイで開催された。第5戦は城内選手が復帰し本来のチーム体制となり、あらためて開幕戦を迎えるような気持ちでチーム全体さらに気を引き締めなおして300kmのレースに挑んだ。

8月9日(土)

公式練習 9:00~11:00 天候：くもり 路面：ドライ 気温：26℃ 路面温度：31℃

心配された台風11号の影響による降雨も辛うじてなく、天候は曇り、路面コンディションはドライ。湿度が高く蒸し暑いコンディションの中で公式練習がスタートした。9:00より始まった公式練習では、まず和田選手がハンドルを握る。前半4戦を終えマシンのセットアップも進み、走り始めからの感触も良く序盤は5番手前後で走行し、予選へ向けてのセッティングを確認していく。11周目にピットインし城内選手に交代。城内選手もマシンの状態を確認しながら好タイムで周回を重ね、18周目には和田選手へ交代しブレーキパッドの比較テストを行う。26週目に再び城内選手がハンドルを握り、決勝を想定した連続周回を安定した好タイムでこなし、さらにセッティングの微調整を加えながら走行し、51周を走行したところで公式練習を終えた。



予選 Q1 14:00~14:15 天候：曇り 路面：ドライ 気温：27℃ 路面温度：34℃

14:00より行われたノックアウト方式の予選のQ1は和田選手が担当。予選開始直前にコースの一部で雨が降りだしウェット宣言が出される。予選開始すぐにコースインし、5周目に1'39.618を記録し11番手。一旦クールダウンして他車との位置関係を確認し再びアタックを開始したが、なんと1コーナーでガス欠症状が…。最終アタックを断念し、コース脇に車を止め17番手で予選を終えた。予選終了後コース脇で車両を止めていたのだが、エンジンを再始動したところオフィシャルからコースを走行してピットへ戻るようにと指示を受ける。ガス欠で止まっていたので戻れないかもと和田選手は疑問に思いながらも、オフィシャルの指示に従いピットに戻ろうとしたところ、ピットレーン入口手前で再び停止。500クラスの予選中だった為赤旗が提示され、予選中の赤旗の原因を作ったとして予選タイムが抹消となり、最後尾からの決勝スタートとなった。



公式予選総合結果 予選タイム抹消（赤旗原因の為）

8月10日(日)

フリー走行 9:00~9:30 天候:雨 路面:ウェット 気温:22℃ 路面温度:23℃

心配された通り台風11号が西日本に上陸し、その影響を受け富士スピードウェイのある小山町には大雨洪水警報が発令され、断続的に激しい雨が降る荒天の中、決勝日朝のフリー走行が開始された。セッションが始まるとすぐに雨脚が強くなり赤旗。9:09に再開されるも時折猛烈な雨の降る難しいコンディションの中、和田選手、城内選手ともに荒れた天候での決勝を想定しながら慎重にセッティングの確認をし、30分間のフリー走行を終えた。



決勝 15:00~ 天候:雨 路面:ウェット 気温:24℃ 路面温度:26℃

午後になっても雨は降り続き、時折激しい雨が降る悪天候の中、15:00にセーフティーカースタートで決勝レースがスタートした。

スタートドライバーは和田選手。スタート直後の1コーナーで21号車のR8をパス、翌週の1コーナーで48号車GT-R、さらに数周後には5号車、67号車のGT-Rをパスし順調に追い上げていた9周目に雨脚が強くなりセーフティーカーがコースイン。

セーフティーカー先導のまま周回していたが、さらに雨脚が強くなり17周目に赤旗中断。グリッドにマシンを止め、ドライバーも車から降りてピットで待機し天候の回復を待つ。16:15にレースが再開された時点で18位を走行していた和田選手は、難しいコンディションにも関わらずさらにプッシュを続け、13位までポジションを上げる。この時点で雨は止んでおりサーキット周辺に濃い雨雲もなく、しばらくの間は強い雨は降らないと予想され、路面コンディションも回復してきており、インターミディエイトタイヤの方がタイムが出ると判断。32周目にピットインし浅溝のインターミディエイトタイヤへ交換、城内選手にステアリングを託す。



23位でコース復帰した城内選手は上位を走るマシンと同等のタイムで周回を重ね着実に順位を上げていく。城内選手は40周目に15位、50周目には11位とポイント圏内を目指して果敢にプッシュを続ける。55周目には再び雨脚が強くなりセーフティーカーが導入される。このセーフティーカー導入により10位を走る3号車とのタイム差もなくなり、再スタート後のオーバーテイクを期待していたのだが、雨脚は弱まることなくセーフティーカー先導のまま62周目にチェッカーとなった。



決勝結果 11位完走 (62周 ベストラップ: 1'51.090)

和田久 選手 コメント

台風の真ただ中にまさかレースが開催されるとは思いませんでした。とにかく鈴鹿1000Kmとインターバルが短いので何かあったらアウト!! 正直、一回目の赤旗で止めてほしいと思ったのは本音。まあ、レースは本来の予選ポジションからスタートしていれば間違いなくポイントは獲れていただろうし、もったいないレースでした。今回が開幕戦の城内のインターバルを感じさせない走りは次の鈴鹿に向けてチームの大きな自信になったよね。



城内政樹 選手 コメント

今期はチーム、スポンサー様に大変ご迷惑をおかけしてしまいました。

今回からの出場で少し不安が有りましたが、土曜日の公式練習で感覚を取り戻すことができ、何とかなると実感しました。

日曜日は天候が不順で、これまた雨も久しぶりで・・・朝の走行で慣れて、どんな状況でもなるようにしかならないと覚悟をしました。レース展開は監督とエンジニアに任せて、ひたすら速く走るだけと決勝に臨みました。決勝は和田氏が頑張り、順位を上げて交代となり無心で頑張りました。選択したタイヤも良かった為、順位を上げれたと思います。



黒田朋宏 監督 コメント

決勝は荒天の難しいコンディションにも関わらず、和田選手、城内選手ともに果敢にプッシュを続け、あと少しでポイント獲得というところまで追い上げていたので非常に悔しいです。

城内選手も復帰し、マシンの仕上がりも良く、チーム全体のモチベーションも上がってきているのを感じています。幸か不幸かハンディウエイトを積んでいない軽い状態のマシンでチームと相性の良い鈴鹿を戦うことができるので、予選から積極的に良いポジションを狙い、決勝は上位でゴールを迎えられるようにしっかりと準備をして鈴鹿に挑みたいと思います。

